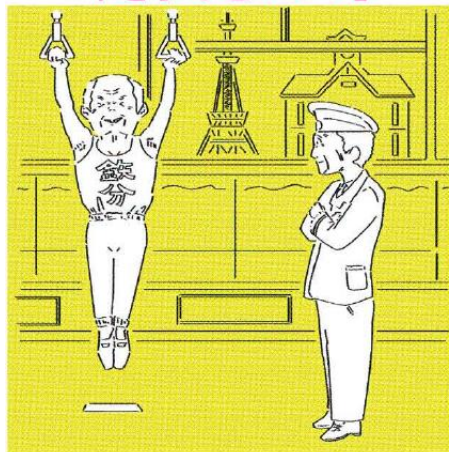




介護の現場にデザインを



鉄道オタクのためのデイサービス
「電車で老GO！」



※イラストはイメージ
札幌市電の車両内の実証実験は、市交通局の許可を得ています

介護と福祉のこれから

自分が老いたとき、どんなふうに日々を過ごしたいのか。公募の若者ら約500人が「理想の未来」を語り、課題を洗い出し、実践した成果の「おいおい老い展」が21〜25日、東京都千代田区の「アート千代田3331」で開かれる。「老いるって楽しい」と予感させる展示や座談会から見える、理想の老後とは。

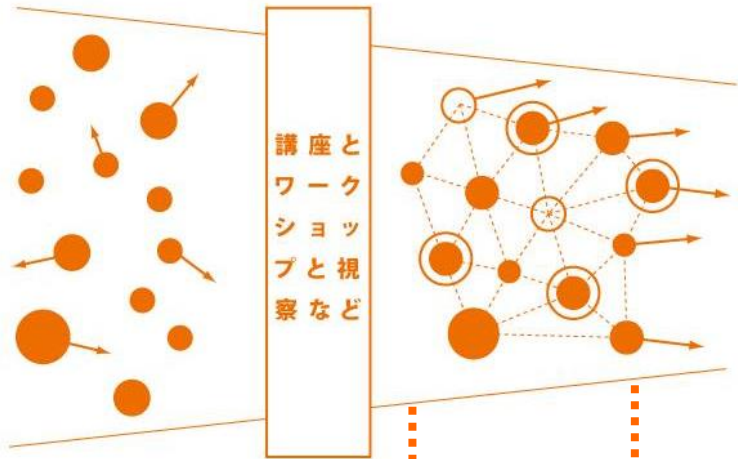
「おいおい老い展」21〜25日、東京で開催



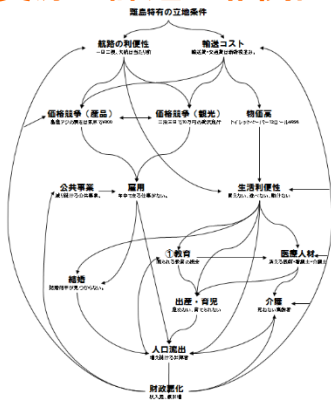
老い展は、介護と福祉の現場をより魅力的なものにしようと、厚生労働省の補助を受けて全国で開催した「これからの介護・福祉の仕事を考えるデザインスクール」の成果の集大成だ。町づくり事業を手がける大阪府吹田市の「スタジオ・エル」が昨夏に開き、18〜70代が理想の未来を話し合ってきた。スクール生や芸術家による約80の展示と、特設会場の25のイベントで構成する。

特設会場の座談会「ヘニアのキャリア」は、定年退職後、積み上げたことがゼロにならない社会の実現を

計画策定における、合意形成と主体形成



資源・課題の相関図



対応策

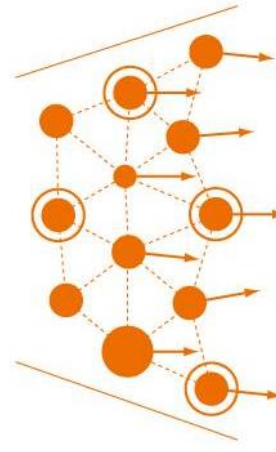
活性化策

維持策

撤退策



計画書



計画を根拠にした
住民活動の活発化

